

「革新」×「共創」で未来を拓く女性博士育成プロジェクト T-COCOA

2026 年 4 月採用者審査 講評

1. 総評

お茶の水女子大学「革新」×「共創」で未来を拓く女性博士育成プロジェクト T-COCOA (JST SPRING 事業 2024 年度採択) は、博士後期課程学生が挑戦的・融合的研究に専念し、社会との「共創」を通じて新たな価値を創出する人材の育成を目的としています。

応募状況(参考1)に示したように、2026 年度は採用枠 10 に対して応募者数 14 名となり、採用倍率は 1.4 倍となりました。文理を問わず幅広い分野の学生から応募があり、他学からの応募・採用もありました。

全体として、プロジェクトの趣旨をよく反映し、優れた研究計画が多く見られました。研究内容と社会実装の成果とのつながりを丁寧に検討し、社会課題の本質を捉えながら、専門性を核とした多層的なアプローチによって学術的知見を社会実装へと昇華させる構想力や、産学連携や実証サイクルを重視した提案が高く評価されました。また、研究活動を通して得られた学術的知見だけでなく、それらが自身のキャリアパスにどのような視点や知見をもたらしたのかを明確に述べることであった申請内容が高く評価されました。

一方で、申請内容を更に良くするための指摘もありました。例えば、社会や個人にもたらす本質的な変化という観点から、さらに考察を深めて欲しい、というものや、学外の社会との連携について、一般的なテーマの提示にとどまらず、自身の研究内容やこれまでの経験をどのように活用できるかについて、より具体的な内容を提案することなどです。

T-COCOA 生になられた暁には、T-COCOA の提供するプログラムを最大限に活用し、研究活動で得た知見を社会課題の解決や社会実装につなげるとともに、自身のキャリア形成にも役立てられることを期待しています。

2. 応募検討者に対する選考委員からのメッセージ

- T-COCOA で、研究活動での学術的な成長(研究成果)とキャリアパス開拓(キャリア構築)の「二兎を追う者は二兎を得る」をぜひ目指してください(何なら「三兎目」も!)
- なにより、社会と一緒に何かしたい!という熱意をもって頂くことが第一と思います。研究テーマのステークホルダは誰でしょうか?一つでも多く挙げてみて下さい。そのうえで各ステークホルダと関わる機会を見つけてください。アウトカムの答えはいくつもあるはずです。

- 将来どのようなキャリアを歩み、そのステップとして T-COCOA をどのように活用したいのか。野心的な未来像を応援しています。T-COCOA への応募を通して、博士課程で取り組む研究や将来のことを考える機会としてください。
- 社会や産業界の課題を自分ごととして捉え、多様な立場の人々と積極的に対話・協働しながら、実装・検証・発信まで見据えた計画と挑戦を期待します。失敗や試行錯誤も貴重な学びです。柔軟な姿勢で新しい挑戦を続けてください。
- ありたい社会、創りたい未来、という大きな絵を描き、それに向かって自分の研究や活動をどのように活かせるか、という視点で考えてみましょう。意欲的な応募を期待しています！

参考1.応募状況

応募総数：14 名 採択数：10 名 採択倍率：1.4 倍

専攻別内訳：応募数（採択数）

- ・比較社会文化学専攻：2 名（1 名）
- ・人間発達科学専攻：3 名（3 名）
- ・ジェンダー学際研究専攻：2 名（1 名）
- ・ライフサイエンス専攻：1 名（1 名）
- ・理学専攻：5 名（3 名）
- ・生活工学共同専攻：0 名（0 名）
- ・他学：1 名（1 名）

参考2.選考方法

書類審査及び面接審査を応募者全員に対して実施しました。

審査は、専門領域における研究業績や研究計画、研究の意義、オリジナリティ、将来性といった一般的要素に加えて、T-COCOA 事業の趣旨を踏まえて、つぎの2つの能力を重視して実施しました。

- ① 研究成果をもって我が国の科学技術・イノベーションへ貢献しようとする意志・熱意
- ② 「革新」×「共創」の基盤となる研究能力・専門知識・社会で成果を上げうる能力・資質（コンピテンシー）。特に、論理的仮説検証力、論理的推定力、概念実証力（PoC）、創造的思考力、プロジェクトマネジメント力、場面に応じた的確で柔軟なコミュニケーション力